

「田代小学校の上柴立棒おどり伝承活動の取組」

1 学校名

錦江町立田代小学校

2 学年・人数

小学5年生から6年生（計21人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

7月30日（月）、7月31日（火）、8月20日（月）、8月29日（水）
（川原グランド）

(2) 発表の日時・場所

9月23日（日）
錦江町立田代小学校 大運動会（本校運動場）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

上柴立棒おどり（かみしばたてぼうおどり）

(2) 由来

この踊りは、島津の殿様が士気を高めるために、踊らせたのが由来だと伝えられている。

(3) 構成等

4人ないし6人一組で集団を作り、浴衣、たすき掛け、白鉢巻、手甲、脚絆、草鞋をつけた勇ましい姿で、六尺棒、三尺棒、なぎなた、鎌などを激しく打ち合わせて踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

戦中・戦後を経てしばらく途絶えていたが、昭和57(1982)年12月から伝統文化の伝承のために、棒おどり経験者等が集まり「上柴立棒おどり保存会」を結成し、昭和58年4月4日に若宮神社奉納記念で復活した。

この活動を後世に残すために、「上柴立棒おどり保存会」、学校、地域が協力し、田代小学校の5・6年生に上柴立棒おどりを教え、全員が習得し、運動会で披露することで伝承していけるようにした。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

「上柴立棒おどり保存会」と地域の方々、学校が協力して活動をしている。田代小学校の5・6年生は、上柴立棒おどりを習得することが当たり前だと思うほど、自然な形で文化財を伝承していく態度が身に付いている。この流れを作るには、いろいろと苦労があったが、先人の方々が作ったこのよい流れを崩さずに伝承していきたいと思っている。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【保存会による練習の様子】



【運動会での発表】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

先輩たちが練習しているのを見て，早く一緒にやってみたかった。
夜，一生懸命練習した後に，みんなで食べたパンはとてもおいしく感じた。
本番でみんなと一緒に踊り，ぴたっと踊りが合ったときが一番楽しかった。

【保存会】

保存会自体が高齢化し，伝承活動に不安を覚えていたが，田代小学校の5・6年生が楽しみながら，覚えてくれているのでとてもありがたい。

【教員】

伝統芸能の継承活動を通じて，地域の方々と触れ合うことができ，名前も覚えていただけている。この活動のおかげで，地域一体型の見守り等が自然とできている。